

石川県

支援事業に参加した成果

- 圏域ごとの会議に医療・福祉・介護・行政等の関係機関が参加し、顔の見える関係作りができた
- 実践的な事例を通して、各関係機関の役割や連携体制のイメージを共有できつつある

支援事業での取組

(研修会の開催予定)

H30. 2. 28 石川県地域生活支援連携会議 参集機関：医療・福祉・行政

内容：講義（広域アドバイザー） 各圏域の現状報告 グループワーク

(広域AD現地支援)

H30. 1. 30 各圏域及び金沢市（中核市）の保健所担当者が参加。現状報告後、現地支援を受けた。

モデル圏域における具体的な取組

(協議の場の開催状況)

南加賀圏域 :H29. 11. 6 地域連絡会（第1回）

- ・ ケース検討により、地域移行への取組み実践を進める

H30. 2. 15 地域連絡会（第2回）

- ・ 取組み状況の実践結果を報告

石川中央圏域:H29. 10. 19 地域生活支援事業連絡会（第1回）

- ・ 講義、意見交換、課題整理

H30. 2. 8 地域生活支援事業連絡会（第2回）

- ・ 事例紹介及びグループワーク（今後実践できる取り組みについて検討）

能登中部圏域:H29. 10. 23 精神障害者地域生活支援連絡会（第1回）

- ・ これまでの取り組みを整理し課題を共有

H30. 1. 29 精神障害者地域生活支援連絡会（第2回）

- ・ 事例検討

モデル圏域における退院支援の状況

能登中部圏域

(退院支援を実施した者の人数) 3

(そのうち、退院した者の人数) 2

南加賀圏域

(退院支援を実施した者の人数) 5

(そのうち、退院した者の人数) 0

平成30年度 取組方針

- 地域移行支援における関係機関の役割を具体的に明確化し共有する
- 地域移行の進め方と圏域における連携体制を構築し、実践していく
- 地域におけるアウトリーチ支援体制を構築する